

山梨県水産技術センター・研究課題事後評価表
山梨県水産技術センター課題評価委員会(2012.1.23)

試験・研究課題名:寒沢モニタリング調査

大課題名:漁場の実態把握

小課題名:主要河川の生息魚類調査 個体群の維持機構の解明

細目課題名:寒沢モニタリング調査

担当者名:研究員 坪井 潤一

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究目標の達成度	4.5 / 5	継続的な研究により、期待通りの成果が得られている。
2 成果の有用性 (普及性、波及性)	4.5 / 5	河川管理に役立つ知見が得られており、有用性は高い。
3 研究の発展性	4 / 5	ダムのスリット化など新たな河川管理が進むなか、研究の発展性は高い。
4 研究課題選定の妥当性	5 / 5	他県に先駆けて行われた研究であり、選定課題は妥当である。
総合評価	4.5 / 5	本研究は、是非継続して行って欲しい。 また、併せて遺伝子試料の採取、保存、解析も行って欲しい。

「注」 評価点の目安

評価 点数	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

砂防ダムが設置されている流域での生活史や個体群の維持機構が明らかになった。今後は、在来個体群の保全等を河川管理者・遊漁者への指導普及を行っていききたい。